

文京通信

ふみのみやこ

文部科学省認可通信教育

放送大学東京文京学習センター
機関誌 No.2

平成28年7月発行



目次

| | | |
|-----------------------|--------------------|---|
| 学園祭（茗荷祭）の紹介 | 学園祭実行委員会会長 齋藤 成吾 | 2 |
| 「第九を歌う」プロジェクト | 世話人代表 杉本 宏 | 2 |
| 客員教員紹介 | 客員准教授 星 薫 | 3 |
| 基本的なことは本当にそうなのですか？ | 客員教授 森 義仁 | 3 |
| クラス会の活動報告とご案内 | クラス会支援委員会委員長 中村 由美 | 4 |
| あすなろ会 | 会長 真下 吉弘 | 5 |
| ドイツ語学習会への招待 | 時岡 秀我 | 5 |
| 学習支援サークル | 代表 杉田 心平 | 6 |
| 「文京通信」の題字揮毫に際して | 元事務長 二宮 徹平 | 6 |
| 学生センター行事報告（2016. 2~7） | | 7 |
| 2016年度 8月以降の行事予定 | | 8 |
| 編集後記 | | 8 |



学園祭(茗荷祭)の紹介

学園祭実行委員会会長 齊藤 成吾

今年の学園祭は10月9日(日)&10日(月)の両日に開催されることになりました。現在の学園祭実行委員会(東京文京SC・学生サークル・同窓会の三位一体)主催の学園祭開催は今年で3年目になります。岡野達雄SC所長が昨年の学園祭(茗荷祭)記録誌(H28年1月20日)で述べられておりますが、何事も中庸をえた3回目に到達(形ができる)するのだという示唆のあるお言葉です。まさに今年の学園祭は東京文京SCを拠点とした地域にあるべき学園祭にしていくよい機会だと位置づけ、その第一歩にしたいものだと考えております。

そこで、今年の学園祭実行委員会(第1回)を6月4日(土)に開催、昨年の反省を踏まえ、下記の通りとする方針を決定しました。

- 1) 学園祭ご案内にサブタイトル～地域とのつながりを求めて～を追記する。
- 2) 学園祭メイン会場は地下1階多目的講義室1とし、2階講義室でもサークルの展示を行う。
- 3) 学園祭受付は地下1階のみとし、1階入口には学園祭会場ご案内を設置する。
- 4) 文京大塚地区自治会会长に学園祭チラシを持参、同時に町会掲示板に掲示をお願いする。
- 5) 電子情報による関係者へのご案内と参加の呼びかけを実施する。

今後は学園祭実行委員会での議論を通して、地域に相応しい学園祭にしていく努力をしていく所存です。東京文京学習センター関係者の皆様のご協力とお力添えで楽しい学園祭にしていきたいものです。多くの皆様のご参加をご期待申し上げます。

「第九を歌う」プロジェクト

世話人代表 杉本 宏

みなさん今日は。南関東の7つの学習センターでは、ベートーヴェンの第九交響曲を歌う合同プロジェクトを立ち上げ、来年3月の演奏会に向けて第九に関する座学や合唱練習に取り組んでいます。本日はこのプロジェクトのメンバーである、♪永原ゼミの練習風景を紹介させて頂きます。

■ まもなく誕生1年：昨夏7月に誕生しました。合唱経験なんてないし、そもそも音符も苦手だけど、でも声高らかに第九を歌ってみたい、という熱意だけは誰にも負けないゼミ生の熱き想いに、客員教授の永原先生が応えて下さり、まずは第九を歌うための体づくりから開始しました。

■ 活動は月4回(音楽学2回+合唱練習2回) 音楽学ではグレゴリオ聖歌を学び、実際に歌つたのが得難い体験となりました。永原ゼミに入つていなければ一生、歌うことができなかつたと思います。今年度は、西洋音楽史におけるベートーヴェンの位置づけから始め、シラーの詩を音読後第九の第四合唱の構成と魅力に迫っていきます。

■ 合唱練習～ついに第九を全部、歌いました！ まず柔軟体操(愛称はネコのあくび、です。)から始めます。体操中に繰り出される先生のトークに皆、笑って(時には苦笑して?)、身も心もほぐれたところで発声～合唱練習に進みます。

音程やリズムを外さないか、ビビりながらも次第にお腹の底から声が出るようになります。

そして遂に全パートを歌い終えました。発音も、リズムもまだですが、ピアノが最後の高まりを奏じきった後の高揚感を皆で共有しています。

■ 永原先生、どうぞ一言お願い致します。 永原恵三です。「第九」というタピストリーを織り上げるのは大変ですが、ゼロスタートの文京チームですから、皆と一緒に協力し、TAの先生方に支えていただきながら、ベートーヴェンの音楽の思考に近づけるように、頑張っています。



客員教員紹介

客員准教授 星 薫

私の専門は心理学です。文京学習センターの客員教員を務め始めて、2年目です。その前は、放送大学の専任教員でしたので、今でも放送授業には、時々顔を出しています。また、今も新しい科目の作成中です。

先日、文京学習センターで「認定心理士ガイダンス—初心者のために」という会を行いました。社会人が大半を占める放送大学の学生さんたちの中には、社会経験や、子育て経験などを通じて、人間の心のむずかしさや、不思議さを痛感しておられる方が多いようで、心理学に関心を持つ方が多数いらっしゃいます。それを受け放送授業には現在、40科目を超す心理学の講義があります。それらの授業の単位を一定の基準に沿って取得することで、認定心理士という資格が得られるものですから、多くの方が認定心理士資格に関心をお持ちです。この資格は放送大学とは直接関係がなく、日本心理学会という学会が認定するもので、また、特に就職に有利になるとか、何らかの職業に従事できるというものではありません。あくまで、「心理学の基礎を正規の課程（4年制大学）で、学んだことを認定する」というものに過ぎないのですが、多くの学生さんがこの資格取得に熱意を持っておられ、全国の認定心理士資格取得者の約10%は、放送大学出身者で占められています。

今回「初心者のために」という名目で認定心理士のガイダンスをさせていただいたのは、放送大学入学間もない方々に、認定心理士資格を早めに知っていただき、関心のある方には、資格取得の準備を学習開始早々から始めていただきたかったからなのです。当日は、50名を超す皆さんに参加していただき、熱心で活発なご質問をたくさんいただきました。また機会があれば、同様のガイダンスをさせていただきたいと思っていますので、関心のある方の、ご参加をお待ちしています。

基本的なことは本当にそうなのですか？

客員教授 森 義仁

化学を担当しています。自主ゼミもときどき開催しています。ところで、みなさんは「自主」の「自」はどなたのことと思っていますか、もちろん、教員でなく学生のみなさんですよね。私もそう思います。だとすると、自主ゼミは学生のみなさんが集まり自由に好きな問題に取り組む場所で、教員はマネージャーでしょうか。ある本によると、そもそも中世に始まる大学とは知的関心のある徒が集まって議論をする場所で、そこに最初は「教員」なるものはいなかったようですから、自主ゼミは本来の大学の姿に似ています。とは言っても、私にはこのような「自由の楽園」のマネージャーを務める自信がないので、教科書に載っているようなみんな知っている基本的なことは、いかにしてそのように認められるようになって来たのかをもう一度自分自身で考える、このことを自主ゼミの大きな課題として、加えて主に物質に関わることとすることで、私もどうにかマネージャー役を果たせている状況です。

物質に関わる基本的なことは実験や観察を通じて確かめられてきました。自主ゼミではそれを自身の手で今一度確かめてみようと言うわけです。幸い文京学習センターにはまだ5年しか立たない実験室が2つあり、基本的な道具もある程度揃っています。基本的な道具は基本的なことを確かめができる道具もあります。しかし今更基本的なことを確かめてもいかがなものかと心配されるかも知れませんが、いやいや実はこの事が非常に大切で、それをせずにいると、「その基本的なことは本当にそうなのですか」と聞かれたとき「教科書に載っているから」としか答えられなくなり、できれば避けたい事態です、みなさんそう思いませんか。



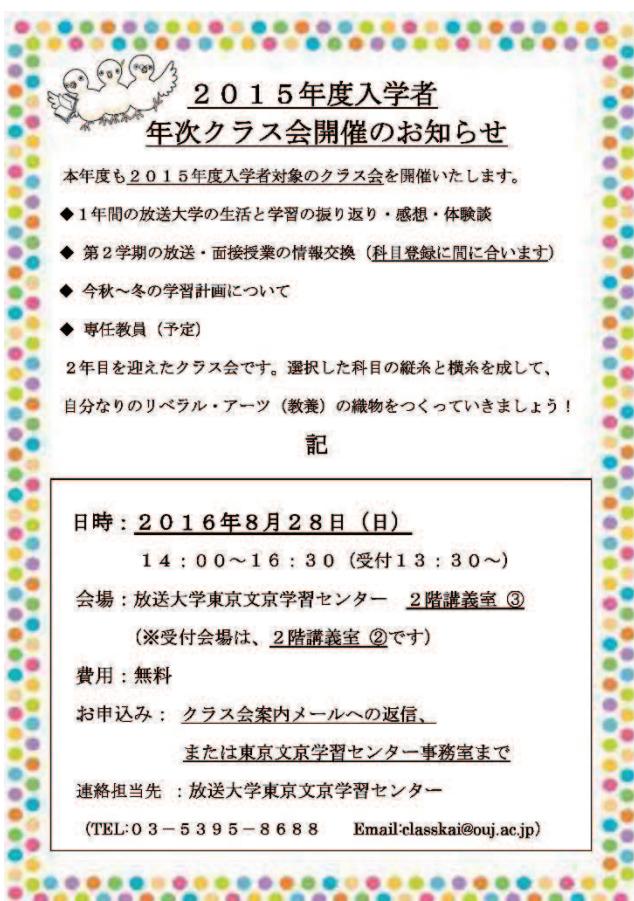
クラス会の活動報告とご案内

クラス会支援委員会委員長 中村 由美

2015年に創立した入学年次別のクラス会が2年目を迎えました。創刊号で紹介した2016年2月の年次クラス会では、岸根順一郎教授、松井哲男教授、秋光淳生准教授をお迎えし、まなびーも応援に来てくれました。4月の入学者の集いでは新入学生にクラス会を紹介し、多くの入会希望者の登録がありました。5月後半には第1回前期クラス会を開催し、7月末に控えた単位認定試験や学習方法の工夫などを懇談し、通信指導の注意点が確認できたとか、会話が弾み交流時間が短く感じたとか、また閉会後には再会の約束を交わされている姿も見かけました。ご協力いただいた15年度クラス会企画員や在学生有志の皆様に深く感謝いたします。

クラス会は、卒業の学生率を増やす目標をもつますが、参会者によれば、学位修得のほかに資格の取得や生涯学習など目的も様々です。またクラス会は特定の集まりに限定しない、帰宅部的自由な風土が特徴です。初年度は11名ほどの先生をお招きしましたが、クラス会を構成する企画員が役割を分担しながら、学年別に合わせたテーマを練り、さらに学友との話し合いの場も盛り上げようと意欲的な意見が内容に反映されています。

8月28日(日)は5回目の15年度クラス会、9月10日(土)は2回目の16年度クラス会が開催されます。「どんな感じかな?」と思われている皆様へ。初めての参会も大歓迎です。会員の募集は、随時事務室で受け付けております。参会者が主人公であるクラス会を放送大学生活の潤いや自己学習にご活用ください。



**2015年度入学者
年次クラス会開催のお知らせ**

本年度も2015年度入学者対象のクラス会を開催いたします。

- ◆ 1年間の放送大学の生活と学習の振り返り・感想・体験談
- ◆ 第2学期の放送・面接授業の情報交換（科目登録に間に合います）
- ◆ 今秋～冬の学習計画について
- ◆ 専任教員（予定）

2年目を迎えたクラス会です。選択した科目的縦糸と横糸を成して、自分なりのリベラル・アーツ（教養）の織物をつくっていきましょう！

記

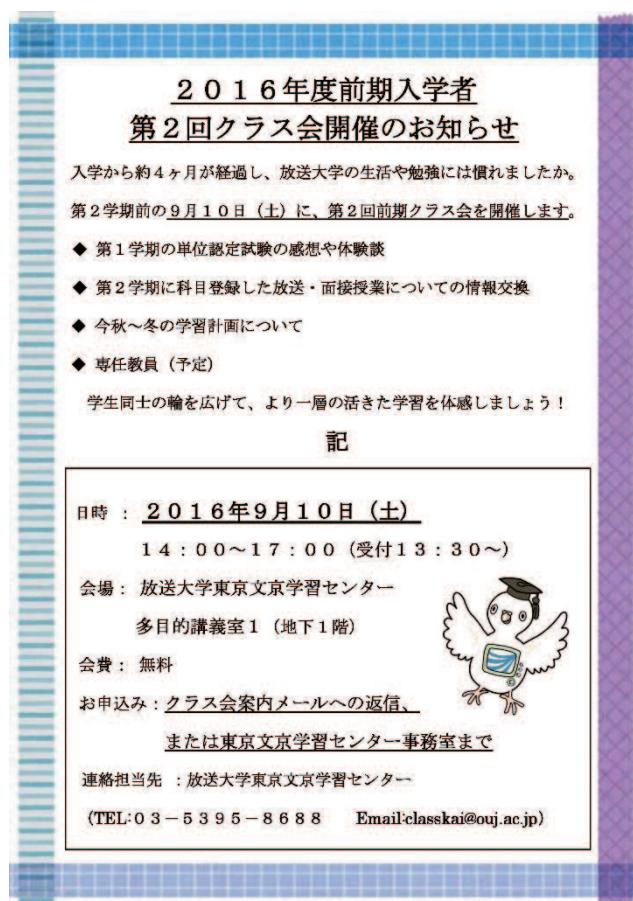
日時：2016年8月28日（日）
14:00～16:30（受付13:30～）

会場：放送大学東京文京学習センター 2階講義室③
(※受付会場は、2階講義室②です)

費用：無料

お申込み：クラス会案内メールへの返信、
または東京文京学習センター事務室まで

連絡担当先：放送大学東京文京学習センター
(TEL:03-5395-8688 Email:classkai@ouj.ac.jp)



**2016年度前期入学者
第2回クラス会開催のお知らせ**

入学から約4ヶ月が経過し、放送大学の生活や勉強には慣れましたか。

第2学期前の9月10日（土）に、第2回前期クラス会を開催します。

- ◆ 第1学期の単位認定試験の感想や体験談
- ◆ 第2学期に科目登録した放送・面接授業についての情報交換
- ◆ 今秋～冬の学習計画について
- ◆ 専任教員（予定）

学生同士の輪を広げて、より一層の活きた学習を体感しましょう！

記

日時：2016年9月10日（土）
14:00～17:00（受付13:30～）

会場：放送大学東京文京学習センター
多目的講義室1（地下1階）

会費：無料

お申込み：クラス会案内メールへの返信、
または東京文京学習センター事務室まで

連絡担当先：放送大学東京文京学習センター
(TEL:03-5395-8688 Email:classkai@ouj.ac.jp)



あすなろ会

あすなろ会会長 真下吉弘

私達は互いの親睦、絆を大切に生涯学習を通して自己啓発を目指しております。来年創部 30 周年を迎える歴史ある学生サークルです。現在約 100 名ほどが在籍しており、仲間同士生き生きと学生生活を楽しんで行動しております。

あすなろ会に入会すれば下記の各クラブに年会費 1500 円でどれにでも参加出来ます。

絵画部

毎月一回の例会第一土曜日 12 時から 17 時

カメラ部

毎月一回の撮影会 四季折々の自然を求め近郊の野外撮影

俳句会

毎月一回・第四水曜日 13 時から 16 時

俳句の楽しさが味わえます。

ホームページ・プログの勉強会

初歩からホームページ公開まで指導

パソコン部

月 2 回初歩から各自レベルに合わせた個別指導

企画部

新年会、秋の一泊旅行、不定期で歴史散歩

インターネットクラブ

現在 50 名ほど加入しております。各クラブのイベント情報、ホームページの更新情報、写真の掲載等、仲間同士双方向通信が出来ます。

ホームページの閲覧

「放送大学あすなろ会」で検索して頂ければあすなろ会のホームページが見られます。日々の活動状況またリンクされた仲間のホームページを見ることが出来ます。

また文京学習センター、渋谷学習センターに毎月のイベント情報が掲示されておりますので、見学だけでも結構です、ぜひ参加して楽しい有意義な学生生活を送られることを期待しております。

ドイツ語学習会への招待

時岡 秀我

グローバル化が叫ばれ世の中は英語一色です。そんな潮流の中ドイツ語を学ぶ人は激減しています。そのような流れにめげることなく東京文京センター「ドイツ語学習会」のメンバーは、月二回を通してドイツ文化の探求を楽しんでいます。哲学・芸術・科学など思い浮かび、考え方、表現の仕方、関心の持ち方、探求心などと、その背景にあるものと考えています。

いま私たちはフェルディナンド・フォン・シラッハという現代作家の作品「犯罪 (Verbrechen)」を少しづつ読み、吟味しながらドイツ語、文化の探求をしています。月二回の学習会、第二金曜日はメンバーのみで読み進め、いろいろな疑問点や考えなどを話し合います。第四金曜日には先生の指導を頂いています。先生にはドイツ語文法や私たちの疑問点の解明のみならず、ドイツの事情、人の考え方、発想の仕方など、現実を踏まえた解説をしていただいている。

学習会への参加には初級程度のドイツ語文法が必要ですが、辞書を引くことが出来れば大丈夫です。現役の学生でドイツ語を履修されている方はもちろん、昔々大学で仕方なく単位取得のために適当にやったけれど、ドイツ語の知識も錆びついてしまった方も、辞書を片手にやってみようと思う気があれば十分です。

ドイツ文学を通して、私たちと異なるバックグラウンドの人たちの考え方、発想方法などの理解に努めることが、世界の多様な人々が織りなす人間模様、異文化に目を開く、即ちグローバルな視野、発想を育むことに繋がると信じます。少し迂遠な回路かも知れませんが、一緒にドイツ語、ドイツ文学を通してグローバル世界への眼差しを刺激してみませんか？開催は、第二、第四金曜日午前 10 : 00 から 12 : 00 まで文京センター講義室です。メンバー一同ご来場をお待ちしています。



学習支援サークル

代表 杉田 心平

放送大学では、「やる気に燃えて入学したもの、学びたい分野の学習のためには中学や高校の基礎レベルで躊躇している苦手科目を改めて勉強しなければならなくなつて絶望しかけている」という人をよく見かけます。元から苦手だった場合もあり、あるいは何十年かまったく勉強していくなくてすっかり忘れてしまった場合もあるでしょう。入学試験が無いこともあり、印刷教材が届いてすぐに「この英語教科書、さっぱりわからない。どうしよう」と困り果てた体験談もよく聞きます。

こうした状況で困っている方は、ぜひ毎週開かれている学習支援サークルの「東京文京学習センターでの活動 学習支援・勉強会」にお越しください。特に人に教わりたいという訳でなくとも、基礎から学び直そうとしている人が他にもいると実感デキたり、あるいは学友と話す機会を得るためだけでも価値があるかもしれません。

ひたすら自習する人や小さな幾つかのグループで自分達の関心に従って勉強する人々もいて、どの時間帯に参加するかも自由です。学習センターのポスターで日程を確認し、当日学習センターで会場を確かめて気軽に覗いてみてください。

活動予定に関してはポスター以外にも、Facebook や Twitter でもお知らせしています。
<https://www.facebook.com/groups/LearningSupport.ouj>
https://twitter.com/LSC_ouj

この機関紙をご覧になっている方の中には文京学習センターが遠過ぎるという方もいらっしゃると思います。全国の学習センターで高校レベルまでの内容の学び直しを行いややすくするために、現在、岡部学長とも協力し、Facebook 等を活用して全国版のオンライン学習支援サークルを実現しようという話になっています。どうぞご期待ください。

「文京通信」の題字揮毫に際して

元事務長 二宮 徹平

従来よりの懸案であった東京文京学習センターのコミュニティ誌「文京通信」がいよいよ発刊の時を迎めました。岡野所長、布施事務長のご尽力の賜と心からお慶び申し上げます。この冊子が東京文京学習センターに在籍する学生さんと事務部との意志の疎通をより緊密なものにする媒体になることを信じて疑いません。

振り返りますと私が平成18年4月に事務長に着任した頃は、老朽化の激しい筑波大学の校舎に間借りの状態で、センターの在住部分もその老朽化が極めて激しく、着任当時より何とかならないものかと日々心を痛めていたことを思い出します。幸運なことに、在職3年目に補正予算による筑波大学との合築案が認められ、現在の校舎が完成いたしました。都心の一等地に、しかも駅から3分という好立地に全国50の学習センター並びに7つのサテライトの基幹センターとして、素晴らしい東京文京学習センターが誕生しました。

この「文京通信」が当該センターの学生間の情報通信のみならず、全国の学習センター等への情報の発信基地となりますことを心から願っております。

最後に放送大学並びに東京文京学習センターの更なる発展を祈っております。



学習センター行事報告（2016.2～7）

1. 「小倉行雄客員教授退任記念講演会」について

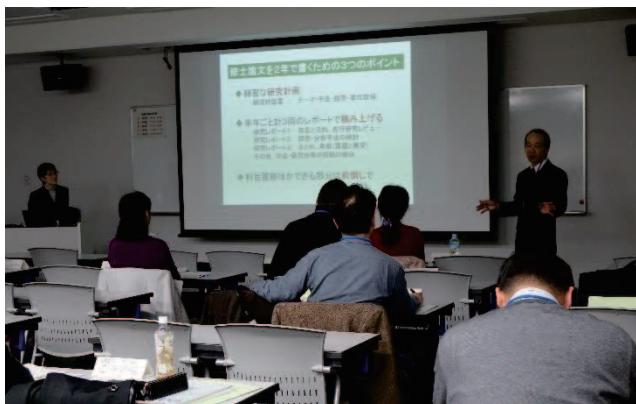
小倉先生の退任記念講演会「問題の本質を読み解く—東芝不正経理問題—」が平成28年3月13日（日）に講義室3において開催され、学生65名と先生のゼミ生10名の計75名が参加し、講義室は、ほぼ満員の状態であった。

記念講演会開始前に小倉先生から講演に対する説明があり、岡野達雄所長の挨拶、先生の紹介後、講演がはじまり、講演後の質疑応答でも、出席者からいくつもの活発な質問・意見に対し、小倉先生は熱意を持って答えられていた。

講演終了後、岡野所長から感謝状が贈られ、ゼミ生からの花束の贈呈があり、14時開始から約2時間にわたる退任記念講演会は終了した。

2. 「平成28年度 1学期入学者の集い」について

東京文京学習センター「平成28年度第1学期入学者の集い」が、平成28年4月3日（日）の10時から多目的講義室1において、新入学生約300名が参加して行われ、終了後、オリエンテーション「学び方ガイド」、センターの施設見学が行われた。「教職員紹介」では、出席した客員教員全員から一言ずつお話をいただき、「学歌齊唱」では、在学生有志、南関東地区の合同プロジェクト「第九を歌おう」の学生有志も参加して、大いに盛り上りました。



最終講義を行う小倉先生

3. 「卒業研究ガイド」について

6月26日（日）14時から卒業研究ガイドが多目的1において、学生約40名が参加して、開催された。岡野所長の挨拶、学生課の説明、石丸先生（生活と福祉）、橋本先生（自然と環境）の説明後、活発な質問が続き、閉会後も会場に残り、色々な質問をする学生の姿が見られました。

4. 「大学院進学希望者ガイド（修士課程）」について

6月19日（日）10時から大学院進学希望者ガイド（修士課程・臨床心理プログラム以外）、14時から大学院進学希望者ガイド（修士課程・臨床心理プログラム）が、多目的講義室1において、それぞれ開催された。臨床心理プログラム以外は約180名、臨床心理プログラムは約200名の学生の参加があった。

昨年度まで、東京文京学習センターにおいて、同ガイドは、1つのものとして開催されていたが、臨床心理プログラムの希望者が多く、今年度は、臨床心理プログラムを分けて、午前・午後と2つにして、開催することになった。

5. 「大学院博士全科生入学希望者ガイド」について

7月3日（日）14時から大学院博士全科生入学希望者ガイドが、多目的講義室1において、学生約110名の参加があり、実施した。



「入学者の集い」で、挨拶する岡野所長



2016年度 8月以降の行事予定

| | |
|----------------------|----------------------|
| 8月 5日 (金) | 面接授業終了 |
| 8月 6日 (土) | オープンキャンパス・個別入学説明会 |
| 8月 12日 (金) ~ 14日 (日) | 夏期臨時閉所 |
| 8月 20日 (土)・21日 (日) | 教員免許更新認定試験 |
| 8月 27日 (土) | オープンキャンパス・個別入学説明会 |
| 8月 28日 (日) | クラス会 (2015・前後期) |
| 9月 10日 (土) | クラス会 (2016・前期) |
| 9月 15日 (木) | 学生研修旅行 |
| 9月 23日 (金)・24日 (土) | 看護師資格取得単位認定試験 |
| 9月 25日 (日) | 卒業証書・学位記伝達式 (学習センター) |
| 10月 2日 (日) | 大学院入学試験 |
| 10月 8日 (土) | 入学者の集い |
| 10月 9日 (日)・10日 (月) | 学園祭 |
| 10月 15日 (土) | 面接授業開始 |
| 10月 21日 (金) | 面接授業追加登録受付 |
| 1月 20日 (金) ~ 29日 (日) | 単位認定試験 |
| 3月 4日 (土)・5日 (日) | 教員免許更新認定試験 |
| 3月 25日 (土) | 卒業証書・学位記授与式 (大学全体) |
| 3月 26日 (日) | 南関東合同プロジェクト「第九」演奏会 |

編集後記

やっと「文京通信」の第2号を発行となりました。本年1月に第1号を発行して、今回の第2号となったのですが、当初は、まだ半年あると考えていました。しかし、卒業式、入学式、クラス会、ガイダンス等、色々な行事があり、あつという間に時間が過ぎていき、記事をお願いした皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしました。ご協力ありがとうございました。

東京文京学習センターの機関誌は、7月、1月の単位認定試験前に発行するという大前提があり、どうしても業務のピークと重なってしまうという中、大学の受審した予算調査で、機関誌の見直し、経費の削減が指摘されています。これを受け第2号は第1号と違う方法で印刷してみました。紙質や、写真等の写りが多少違っているかもしれません。まだまだ改良しなければなりませんが、引き続き第3号を発行できるようにがんばります。

○ 記事募集

本機関誌に何か掲載できるようなものがありましたら、東京文京学習センター (bunkyo-sc@ouj.ac.jp) 宛に投稿をお願いいたします。ただし、紙面の関係で、掲載できるかどうか分かりませんので、その点、ご承知おき願います。

東京文京学習センター 機関誌「文京通信」編集員会

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

